

島根県の地震

平成30（2018）年11月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

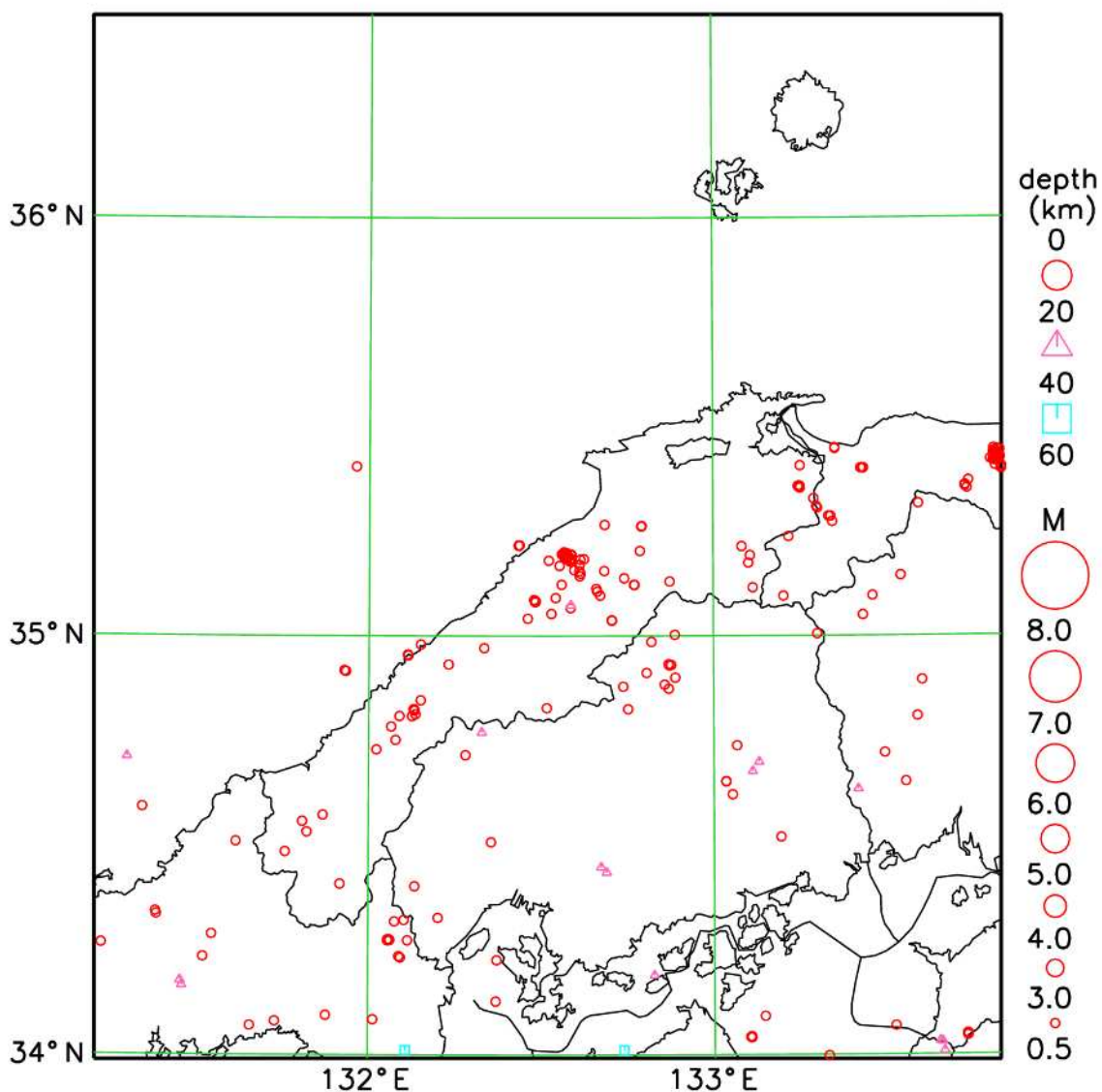
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2018年11月1日～30日

2018 11 01 00:00 -- 2018 11 30 24:00

N=282



[概況]

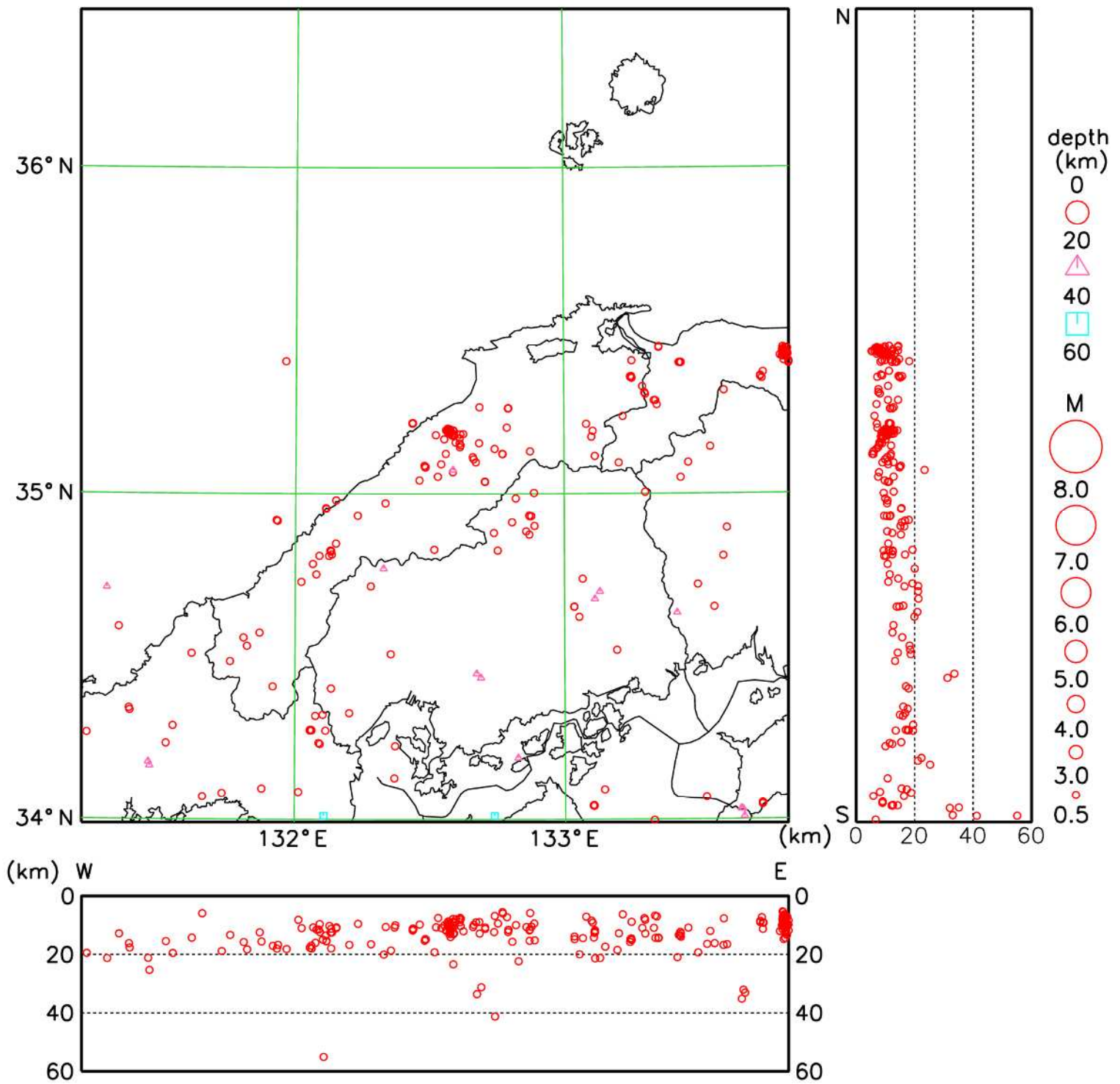
今期間、M0.5以上を観測した地震は282回（10月は285回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

2日16時53分 紀伊水道の地震（深さ44km、M5.4：地図範囲外）により、浜田市・大田市で震度1を観測しました。また、和歌山県、徳島県で震度4を観測したほか、東海・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

[断面図]

2018 11 01 00:00 -- 2018 11 30 24:00



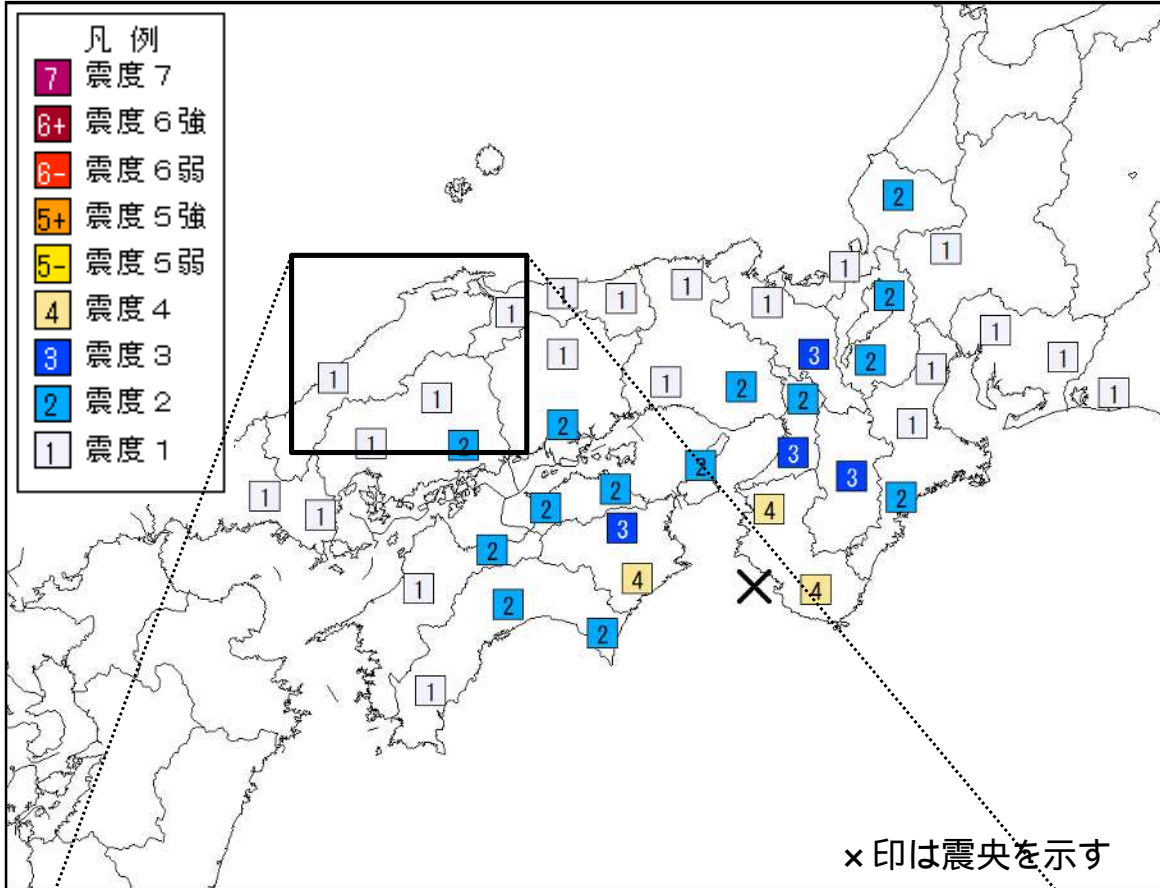
11月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2018年11月02日16時53分	紀伊水道	33° 41.7' N	135° 11.7' E	44km	M5.4
----- 地点震度 -----					
島根県 震度 1 : 浜田市殿町* , 大田市仁摩町仁万*					

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

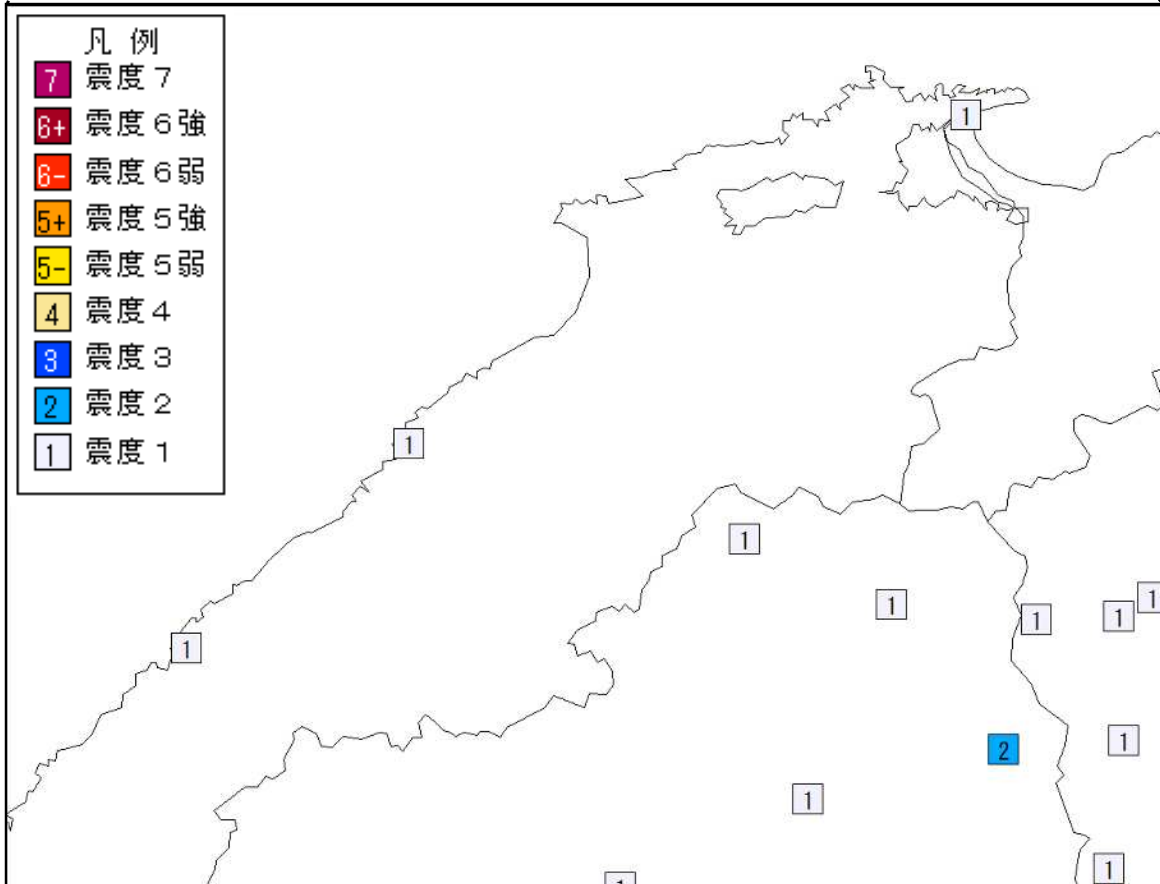
【地域震度分布図】

2018年11月2日16時53分 紀伊水道



【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



災害時に陥りやすい心理について

平成 30 年 7 月豪雨では、避難指示が発令されているにもかかわらず避難しなかった人が多くいました。専門家からは、正常性バイアスが働いたことで避難行動が遅れたと指摘する声が上がっています。

正常性バイアスとは、多少の異常事態が起こっても、それを正常の範囲内としてとらえ、心を平静に保とうとする働きのことです。東日本大震災でも、地震発生直後に多くの人々が日常的な行動をとっていたことが被災後のアンケート結果によりわかっています。

安全・安心研究センター長の広瀬弘忠さんは、「大災害に対して気持ちを抑えようとする心理が行き過ぎると人は危険を認知しづらくなる。」と分析しています。また、「人間は社会的動物で群れを作って集団で行動するからいろいろなことができる。だけど、それが逆に働いてみんなと同じでないと不安になる。同時に本当は危険だと思っても周りの人が動かないとなんとなく恥ずかしい。それで自分の行動を抑えてしまう同調性バイアスという心理もある。」とのことです。どうすれば正常性バイアスや同調性バイアスの心理から逃れることができるのでしょうか。広瀬弘忠さんは、「正常性バイアスや同調性バイアスがあることを認識する。そのうえで、前兆現象などを敏感につかまえて、それに対してきちんと究明して、どういうものだろうと理解したうえで、まずは正常性バイアスから逃れる。次に自分自身の判断を大事にしなければいけない。仮に周りが動かなくても自分で避難する。そのときに周りの人にも声をかけて危ないから一緒に逃げましょうと、そういう配慮が必要であり、そうすると同調性バイアスからも逃れられる。」と話しています。実際、東日本大震災では、岩手県釜石市の鵜住居小学校や釜石東中学校の児童・生徒たちが自ら率先避難者となって、「津波がくるぞ。」「早く逃げろ。」と叫んで避難したことで、周りの住民も危険だと認識し津波から避難することができました。

緊急地震速報や津波警報等を見聞きしたときや、避難勧告等が発令された場合は、周りの人にも声をかけながら行動することが正常性バイアスや同調性バイアスを解く有効な手段となります。災害時には、「自分だけは大丈夫。」と都合の良いほうに解釈してしまう心理が働くことを自覚して、いざというときに備えましょう。



津波から避難する子供たち
津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」から引用

【出典】

津波防災啓発ビデオ「津波に備える」気象庁 HP

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd_sonaeru/index.html

この「津波に備える」のなかに、安全・安心研究センター長の広瀬弘忠さんが行った実験結果やインタビュー「避難の課題～災害時に陥りやすい心のワナ（8分）」が収録されています。

津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」気象庁 HP

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html

注) 上記ビデオは、一般のDVDプレーヤで再生可能なDVD（高画質）を作成しております。
貸し出し等については、松江地方気象台(電話 0852-22-3784)までお問い合わせください。



DVDのジャケットとラベル